

## インフルエンザ(2025 年第 49 週)疫学情報

### 《コメント》

2025 年第 49 週の定点当たり報告数は 38.51(患者報告数 148,314)となり、前週の定点当たり報告数 44.99 よりも減少した。都道府県別では福岡県(65.56)、宮崎県(62.54)、長野県(57.04)、愛知県(53.37)、大分県(52.91)、埼玉県(50.82)、長崎県(48.73)、熊本県(48.17)、鹿児島県(48.12)、山口県(48.08)、新潟県(47.09)、京都府(46.55)、愛媛県(46.35)、岡山県(45.92)の順となった。全国 47 都道府県中、15 都道府県では前週の報告数よりも増加し、32 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,951 例であり、前週(2,263 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(107 例)、1～4 歳(322 例)、5～9 歳(281 例)、10 代(142 例)、20 代(36 例)、30 代(30 例)、40 代(32 例)、50 代(61 例)、60 代(132 例)、70 代(283 例)、80 歳以上(525 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2025 年第 45 週～2025 年第 49 週)では、AH3 亜型が 284 件(96%)、B 型が 8 件(3%)、AH1pdm09 が 4 件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw.info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。